

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-1-3		事業名	公文書館整備基本構想策定			
担当	総務局行政部総務課 石川芽衣 211-2162						
全体計画							
事業内容	重要な価値を有する公文書等を市民の共有財産として後世に伝えていくため、それらの公文書等を体系的に保存し市民の利用に供するとともに歴史を継続的に伝えていくための調査研究を行う公文書館について、有識者等からなる策定委員会を設置し、本市として必要となる公文書館の機能、運営方法、施設整備のあり方等の基本構想を策定するとともに、施設整備の検討を行う。			<年度別の事業内容>			
				平成20年度 公文書館基本構想策定委員会の開催			平成21年度 公文書館基本構想策定委員会の開催、基本構想の策定
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	既往予算にて、公文書館に関する知識を蓄積するとともに、今後の公文書館設置に向けた具体的な取組に資することを目的として、有識者を講師とした研修会を実施した。			有識者からなる策定委員会を設置し、機能や運営方法、施設整備のあり方など、公文書館の具体的な整備構想の検討に着手する。  策定委員会 開催 8名×6回開催×12.5千円=600千円 開催規模は他都市例を参考。 交通費(費用弁償) 1名×6回×50千円=300千円 先進事例調査 2名×50千円=100千円			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
公文書館整備基本構想		-	-	検討	策定	/	策定 (21年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加							
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-1-3		事業名	公文書館整備基本構想策定		
評価(成果)			課題			
<p>歴史的公文書の収集・保存を引き続き進めるとともに、有識者を講師とした研修会を実施することで、公文書館に関する基礎的知識を蓄積した。それらの取り組みは、公文書館設置に向けた具体的な検討に資することができた。</p>			<p>・公文書館設置に関する庁内合意と整備手法(跡利用又は新設)等の検討          ・公文書管理に関する体系的な制度設計の検討          ・公文書の評価選別の一貫性を確保するための具体的な収集基準の策定          ・歴史的公文書の収集の促進と、文書保存センターの収容能力向上の観点から、公文書の保存年限の上限の見直し</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>・基本構想の策定作業を進め、施設整備の是非や整備手法も含め、公文書館整備に向けた庁内合意を図っていく。          ・市民の共有財産である歴史資料として重要な公文書の散逸を防止し、市民と行政の情報の共有化を進めていくため、早期の施設整備を目指していく。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	2,000	2,000	0	4,000
	財源					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市内債	0	0	0	0	0
予算	事業費	0	1,000	-	-	1,000
	財源					
	国・道支出金	0	0			0
	市内債	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源					
	国・道支出金	0				0
	市内債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				25.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						